

研修のお申込み

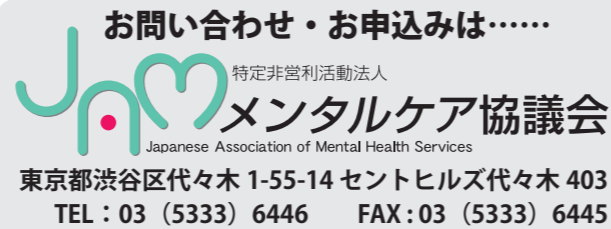
定員 60 名、書類選考とさせていただきます。下記お申込み欄に必要事項ご記入の上、履歴書と併せて FAX または 郵送で下記までお送りください。なお、履歴書は所定の書式のものをご用意いたしましたので、下記 URL よりダウンロードしてください。

http://www.npo-jam.org/rirekisho/

応募締切は 2011 年 1 月 17 日(月)必着 です。

※ お申し込み受け付け後、選考の上、受講票を 1 月 24 日までにメール (または FAX) にてお送りいたします。

※ なお、メンタルケア協議会非常勤相談員の採用には、別途選考がございます。



東京都 自殺防止のための 電話相談技能研修

2011年
1月～3月

のご案内

電話相談員として働きたい方たちへ

東京都では、自殺防止対策の一環として、電話相談窓口「自殺相談ダイヤル～こころといのちのほっとライン～」を平成 22 年 4 月から開設しています。

この電話相談に従事する相談員 (非常勤) を育成するための研修を下記のように行います。この研修を受講できるのは、平成 23(2011) 年度から電話相談員 (非常勤) として働きたいと考えておられる方です。

意欲溢れる方々のご応募をお待ちしておりますので、ぜひ参加をご検討ください。

なお、受講された方全員が相談員として採用されるわけではありません。

定員 60 名を超える応募があった場合には、2011 年度に相談員 (非常勤) として働くことが可能な方を優先させていただきます。

研修内容

- 基礎知識習得のための講義
- グループによるロールプレイ
- 相談現場における陪席及び実務体験

研修内容について、詳しくは次ページの「研修日程」をご覧ください。

◎ 修了証の発行

必須項目を含む 8 単位以上を受講した方には、修了証を発行します。

参加登録制
定員 60 名
参加費不要

東京都 自殺防止のための電話相談技能研修 参加お申込み

フリガナ
お名前 _____ 年齢 _____ 歳 性別 男 ・ 女

ご住所 _____

電話番号 _____ FAX 番号 _____

メールアドレス (原則として必須。添付ファイルも受け取れるものを) _____ @ _____

受講票の送付や、受講時の必要連絡事項など、原則的にはメール (および添付ファイル) でのやりとりになりますので、ご注意ください。

2011 年度の相談業務に従事することが可能ですか? はい ・ いいえ

⇒ 「はい」の場合、履歴書中に勤務可能な曜日と時間帯を必ずお書きください。

※ 土日を含む一週間の曜日から、勤務可能な日をすべてご記入ください。

※ 勤務時間帯は [A]13:30～18:30, [B] 18:00～22:30, [C] 22:00～翌 6:00 の予定です。

履歴書中に
保有資格・実務経験
を忘れずにご記入
ください。

受講希望する研修 (および受講日)

■ 現場研修の参加選択は、必ず一つ以上選択し、参加希望欄に○を書き入れてください。

■ 必修および参加希望する研修のうち、実施日が複数ある研修は、参加可能な日付をすべて○で囲んでください。人数調整のため、こちらで参加日を決定させていただきます、受講票に記載してお知らせいたします。

	研修内容	実施日	時	場所	参加希望	単位
講義	自殺の現状、自殺高リスク者	1/29 土	13:30～19:00	代 1-6F	必修	1
	自殺リスクの高い精神疾患を持つ人	1/30 日	13:30～19:00	新宿	必修	1
	各種専門相談と生活保護等の制度	2/6 日	13:30～19:00	代 1-1F	必修	1
グループ ロール プレイ	希死念慮のある相談の聞き方	2/19 土, 2/20 日	13:30～18:00	代 1-4F	必修	1
	他機関へ繋ぐ	2/26 土, 2/27 日	13:30～18:00	代 1-4F 代 2-1F	必修	1
	相談を受けとめる	3/20 日, 3/21 月	13:00～18:00	代 1-4F	必修	1
現場 研修	東京夜間こころの電話相談	月 1/31, 2/7, 2/14, 2/21, 2/28, 3/7, 3/14 金 2/4, 2/18, 2/25, 3/4, 3/11, 3/18	18:00～21:00	現地	必修	1
	東京自殺相談ダイヤル	火 2/1, 2/8, 2/15, 2/22, 3/1, 3/8, 3/15, 3/22	13:30～16:30	現地	希望する	1
	自殺防止センター	火 2/1, 2/8, 2/15, 2/22, 3/1, 3/8, 3/15, 3/22	18:00～21:00	現地	希望する	1
	訪問看護ステーション	3/10 木, 3/11 金, 3/16 水, 3/17 木, 3/24 木	9:00～15:00	現地	希望する	1
	南紀白浜	2/12 土～13 日		現地	希望する	1

※ 場所について、詳細は裏面「研修日程」をご参照ください。

研修会場ご案内

講義とグループワークは下記のいずれかで実施します (※研修日程参照)

TKP代々木ビジネスセンター

1 号館 東京都渋谷区代々木 1-28-25

2 号館 東京都渋谷区代々木 1-27-17

■ JR 代々木駅 西口または都営大江戸線代々木駅 A2 出口より徒歩 1 分程度

ハロー貸会議室新宿

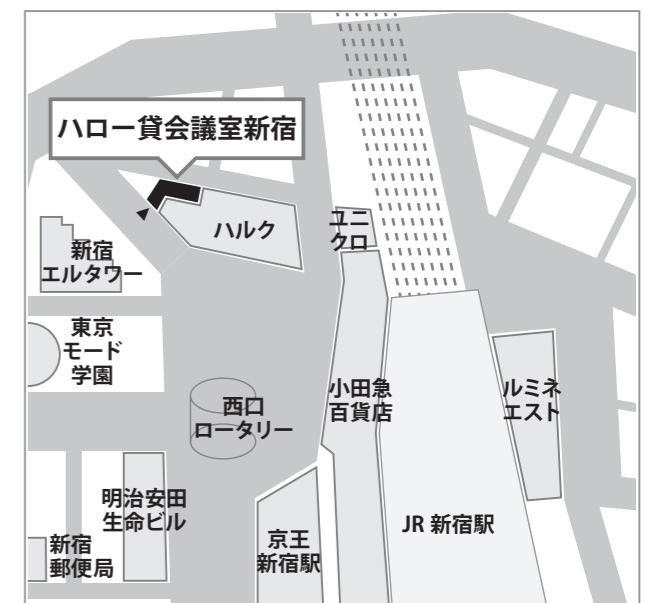
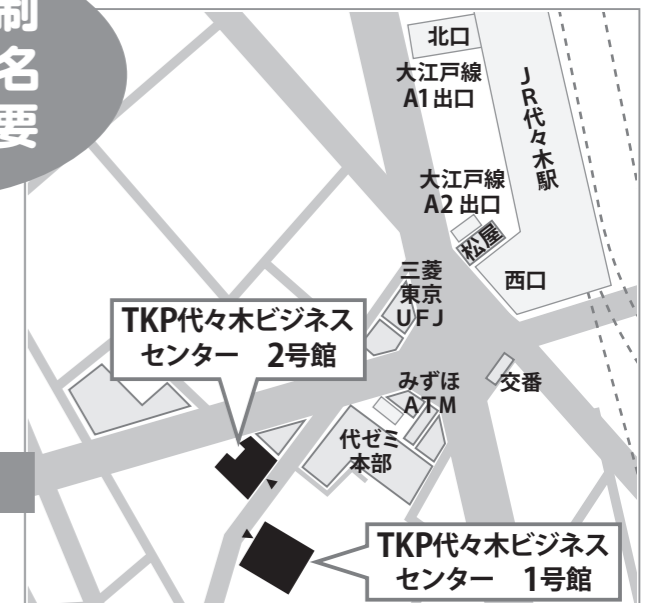
東京都新宿区西新宿 1-5-11 ミツバ 新宿三葉ビル 6F

■ JR 新宿駅西口より徒歩 1 分 小田急ハルクの隣のビル

主催

東京都福祉保健局保健政策部

特定非営利活動法人 メンタルケア協議会



研修日程

研修内容	研修テーマ	日	時	各論テーマ / 備考	講師	場所						
I. 基礎知識習得のための講義	①日本の精神保健および自殺の現状、自殺高リスク者について	1/29 土	13:30～13:45	開講式	羽藤 邦利	TKP代々木ビジネスセンター1号館6F ホール16A						
			13:45～14:45	自殺企図者の救急救命現場から	智田 文徳							
			14:50～15:50	自死遺族への理解	南部 節子							
			16:05～17:05	精神障害者とその家族への理解	野村 忠良							
			17:15～19:00	シェアリング (お弁当つき)	飯島 睦子 荒井 澄子 國吉 淨子 西村 由紀							
各1単位 すべて必修	②自殺リスクの高い精神疾患を持つ人への対応	1/30 日	13:30～14:50	日本の自殺の現状	松本 俊彦	ハロー貸会議室新宿新宿三葉ビル6F A・B・C・D						
			15:00～16:10	薬物・アルコール依存を持った人への対応	松本 俊彦							
			16:20～17:30	精神病をもった人への対応	中谷 真樹							
			17:40～18:50	パーソナリティ障害を持った人への対応	皆川 邦直							
			18:50～19:00	質疑応答								
③就労、多重債務、消費生活、DV、高齢者、母子等の専門相談について生活保護等の制度について	2/6 日	13:30～14:50	13:30～14:50	失業や就職活動に関する問題について	永野 靖	TKP代々木ビジネスセンター1号館1F ホール11A						
			15:00～16:10	多重債務に苦しむ人への支援	橋場 隆志							
			16:20～17:30	DV被害に苦しんでいる人、母子・父子家庭への支援	三好 せつ子							
			17:40～18:50	生活保護など福祉制度、ホームレスへの支援について	望月 利将							
			18:50～19:00	質疑応答								
II. グループロールプレイ	①希死念慮のある相談の聞き方 (講義とロールプレイ)	2/19 土	13:30～18:00	(いずれか1日に参加)	西原 由記子	TKP代々木ビジネスセンター1号館4F カンファンスルーム14A						
		2/20 日										
		2/26 土										
各1単位 すべて必修	②他機関へ繋ぐ (ケース検討とロールプレイ)	2/27 日	13:30～18:00	(いずれか1日に参加)	國吉 淨子 荒井 澄子	(27日のみ) 2号館1F カンファンスルーム21A						
		3/20 日	13:00～18:00	(いずれか1日に参加) (21日(月)は閉講式を併せて実施)	飯島 睦子 内藤 武							
3/21 月												
III. 現場研修	①東京夜間こころの電話相談	1/31～3/18 までの月・金 (2/11 除く)	18:00～21:00	電話相談の概要・相談の陪席 (いずれか1日に参加)	西村 由紀 荒井 澄子 國吉 淨子	相談室						
		2/1～3/22 までの火					電話相談の概要・相談の陪席 (いずれか1日に参加)	西村 由紀 國吉 淨子				
		2/1～3/22 までの火							電話相談の概要・相談の陪席 (いずれか1日に参加)	西原 由記子 スタッフ		
		3/10 木									訪問看護ステーションの概要 訪問の同行 (いずれか1日に参加)	寺田 悦子 スタッフ
		3/11 金										
3/16 水												
3/17 木												
3/24 木												
各1単位 ①は必修、②～⑤は一つ以上を選択	⑤南紀白浜	2/12土・13日	1泊2日	見回り体験・救助者との交流 ※宿泊・食事代は全額補助。交通費自己負担	白浜レスキューネットワーク	白浜バプテスト 基督教会						

※現場研修の研修場所については、1/29に資料を配布いたします

講師・団体紹介

荒井 澄子 (あらい すみこ)

元南多摩保健所／東京都に39年間勤務。検診機関保健師(がん検診センター)、職域保健師(衛生局、総務局)、福祉保健局本庁(精神保健福祉課)、地域保健師(3つの保健所) など

飯島 睦子 (いじま むつこ)

東京いのちの電話 研修委員／立教大学学生相談所非常勤カウンセラー／日本女子大学中・高相談室非常勤カウンセラー

國吉 淨子 (くによし きよこ)

元東京都立中部総合精神保健福祉センター／メンタルケア協議会理事／S52～東京都勤務。松沢病院。多摩総合、中部総合精神保健福祉センターなど。

NPO 白浜レスキューネットワーク

自殺企図者の救済(電話相談、面談、保護)、生活自立支援、自殺予防策など多岐にわたる活動を行う。自殺企図者の救済は、ほとんどが電話から始まり、相談電話件数は年間1000件以上、保護件数も年間30件を超える。保護した方々と共同生活を通して問題解決(自己破産や就職活動、心身の回復)と自立を支援。また、人が自殺に至らない社会づくり、人づくりを目指し、様々なボランティア活動にも積極的に参加。

智田 文徳 (ちだ ふみのり)

岩手晴和病院／岩手医大／1997年滋賀医科大学、2004年岩手医科大学医学部大学院卒業。東京都立松沢病院、北里大学附属病院高度救命救急センター、岩手県高度救命救急センターにて研修。2004年より岩手医科大学医学部神経精神科学講座助手、2008年4月より同講師。現在、(社医) 智徳会岩手晴和病院理事長、社会福祉法人盛岡いのちの電話理事、NPO 法人いわて子育てネット理事。

寺田 悦子 (てらだ えつこ)

NPO 法人多摩在宅支援センター円 (えん) 理事長／当法人は居宅介護サービス事業、共同生活援助事業、相談支援事業など「在宅での支援を必要とする高齢者・障がい者・傷病者等がその人らしい豊かで多様な生活ができるよう応援する」を理念に掲げ、多摩地域で各種事業を展開している。特に、精神障がい者へのニーズに応えているのが当法人の特徴である。居宅介護サービスとしては訪問看護ステーション円、訪問看護ステーション元 (げん)。共同生活援助事業にはグループホーム櫻の杜ハウス、グループホームくぬぎの杜がある。相談支援事業には地域活動支援センター連 (れん) がある。

内藤 武 (ないとう たけし)

埼玉いのちの電話研修委員／元立教大学学生相談室インテーカー

中谷 真樹 (なかたに まさき)

住吉病院院長／東邦大学薬学部客員教授／昭和60年岐阜大学医学部卒業、同年慶應義塾大学医学部精神神経科学教室、慶応義塾大学院精神科研修、山梨県立北病院精神神経科勤務。平成2年桜ヶ丘記念病院精神科勤務、東京デイケア連絡会運営委員長。日本精神神経学会精神保健・医療・福祉システム検討委員会委員、日本病院地域精神医学会評議員、理事を務める。平成19年8月、住吉偕成会 住吉病院院長。

永野 靖 (ながの やすし)／ **東京労働局**

厚生労働省 東京労働局 職業安定部 職業安定課 職業紹介第一係長／東京労働局は労働基準、職業安定、雇用均等の三行政で構成されており、それぞれの専門性を十分に発揮するとともに、各部門間の連携を密に図りながら横断的施策を実施し、労働行政に対する国民のニーズにあった適切なサービスの提供およびきめ細かな行政運営を目指す。

南部 節子 (なんぶ せつこ)

NPO 全国自死遺族総合支援センター 事務局長／2004年2月、夫を自死で亡くす。2005年5月、国会議員会館での自殺対策に関するシンポジウムで、遺族としての体験談

を語り対策の必要性を訴えた。このシンポジウムは、自殺対策基本法成立への大きな原動力となった。2007年7月から「自死遺族支援全国キャラバン」を通じて全国各地で体験を語りつつ、「自殺実態1000人調査」の調査員、「分かち合い」のファシリテーター、電話相談員等も務める。NPO 法人ライフリンク会員

西原 由記子 (にしはら ゆきこ)

NPO 国際ピフレンダース日本支部／東京自殺防止センター創設者・理事／大阪でのちの電話5年、大阪自殺防止センター20年、東京13年目を迎えて自殺防止活動をしているボランティア団体の創設者・理事。傾聴し、自殺にまで追い込まれる人に寄り添うことを大切にしています。

野村 忠良 (のむら ただよし)

東京都精神障害者家族会連合会 (東京つくし会) 会長／S39年4月東京教育大学文学部哲学科入学。S44年3月中途除籍。S41年臨濟宗廣徳寺で僧籍に入り、S45年離籍。S47年知的障害児入所施設社会福祉法人 滝乃川学園) 就職。S50年府中市精神障害者を守る家族会入会。S64年滝乃川学園退職。精神障害者小規模作業所「梅の木の家共同作業所」就職。H7年 同「レスポワール工房」異動。H16年 同施設定年退職。H17年 東京都精神障害者家族会連合会会長就任、現在に至る

橋場 隆志 (はしば たかし)

橋場隆志法律事務所／東京弁護士会高齢者・障害者の権利に関する特別委員会委員、東京弁護士会高齢者障害者支援センター「オアシス」相談員／高齢者虐待防止部会委員／高齢者虐待防止学会評議員／NPO 法人日本高齢者虐待防止センター理事

松本 俊彦 (まつもと としひこ)

独) 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 自殺予防総合対策センター副センター長／薬物依存研究部 診断治療開発研究室長／佐賀医科大学医学部卒業後、神奈川県立精神医療センター、横浜市立大学医学部附属病院精神科、国立精神・神経センター精神保健研究所司法精神医学研究部などを経て、H19より同研究所自殺予防総合対策センター自殺実態分析室長、H20より薬物依存研究部室長を併任、H22より現職。日本アルコール精神医学会理事、日本青年期精神療法学会理事など。

皆川 邦直 (みなかわ くになお)

法政大学現代福祉学部教授／慶應義塾大学医学部卒業、同大学大学院修了(医学博士)。米国ロヨーラ大学医学部精神科レジデンシー修了。米国ミシガン大学医学部児童思春期精神科クリニカルフェローシップ修了。財・東京都医学研究機構精神医学総合研究所、参事研究員、技術部長を経て、現職。所属学会:日本精神分析学会認定精神療法医、認定スーパーバイザー。日本精神分析協会正会員、訓練分析家。日本思春期青年期精神医学会運営委員。日本集団療法学会認定スーパーバイザー。国際精神分析学会正会員。

三好 せつ子 (みよし せつこ)

町田市役所子ども生活部子育て支援課／1998年から複数の福祉事務所において、母子自立支援員兼婦人相談員として相談業務に従事。おもにひとり親家庭や女性からの相談に応じ、問題解決や自立支援をサポート。

望月 利将 (もちづき としまさ)

西東京市社会福祉協議会 事務局長／保谷市役所入庁。福祉事務所にて生活保護の地区担当員(ケースワーカー)として17年間従事。その後、保健福祉の総合相談、生活保護の査察指導員、介護保険準備担当主幹など。H13年2月合併により西東京市に。同市保健福祉部高齢福祉課主幹として、高齢者保健福祉計画の策定、権利擁護センター「あんしん西東京」の立上げ等に従事。広報広聴課長、多摩六都科学館組合事務局次長など歴任。福祉部参与として、地域福祉計画の策定後、H21年4月福祉部長。H22年4月より社会福祉協議会 事務局長、現在に至る。